

医療関係者の皆様

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関する NCGM センター病院 放射線診療部門の対応 ver.2

COVID-19 における MRI 検査の感染対策について、2020 年 4 月 20 日付けで追記しました。

1. COVID-19 における X 線ポータブル撮影の感染対策（2020 年 4 月 9 日現在）

撮影者は、標準予防策 + 空気予防策 + 接触予防策を行う。

① 基本の防護具

キャップ、ガウン、手袋 2 重（インナー、アウター）、N95 マスク
フェイスシールド（目の保護）



② 機器の防護

X 線カセット、装置のコンソールをビニル袋で覆う。

③ 機器の消毒

アルコール消毒あるいは次亜塩素酸で消毒を行う。

④ 個人防護具は、診療室、病室に入る前に着用する。

⑤ 脱衣は、前室内で N95 マスク以外を外す。

⑥ 撮影終了後は、手洗いあるいはアルコール消毒を行う。

2. COVID-19 における X 線 CT 撮影の感染対策（2020 年 4 月 9 日現在）

2 名で対応する。（接触者と非接触者）

撮影者は、標準予防策 + 空気予防策 + 接触予防策を行う。

- ① 基本の防護具
キャップ、ガウン、手袋 2 重（インナー、アウター）、N95 マスク
フェイスシールド（目の保護）
機器の防護
寝台に防水シートを敷く
- ② 機器の消毒
アルコール消毒あるいは次亜塩素酸で消毒を行う。
- ③ 個人防護具は、検査室に入る前に着用する。
- ④ 脱衣は検査室内で N95 マスク以外を外す。
- ⑤ 撮影終了後は、手洗いあるいはアルコール消毒を行う。
- ⑥ 使用後のリネンは 90L の袋に入れて赤字で「CT 室コロナ」と「日時」を記載する。（24 時間以上経過後に処理）
- ⑦ 使用済みの防護具に関しては、感染性廃棄物段ボールに入れた後、封をし「CT 室コロナ」と「日時」を記載する。（24 時間以上経過後に処理）
- ⑧ 酸素・吸引器を行った場合、チューブ類はすべて破棄する

3. COVID-19 における MRI 検査の感染対策（2020 年 4 月 20 日現在）

日勤帯等、マンパワーに余裕がある場合は 3 名で対応する（患者対応 2 名と撮像 1 名）。
休日夜勤帯等、マンパワーがない場合は 2 名で対応する（患者対応 1 名と撮像 1 名）。

① 個人防護具（PPE）

患者対応者は、「標準予防策＋空気予防策＋接触予防策」を行う

手袋 2 セット（インナー・アウター）、フェイスシールド（シールド付きマスクまたはゴーグルでもよい）、キャップ、N95 マスク、ガウン（アイソレーションガウン（黄色）または袖付きプラスチックエプロン（青色）でもよい）

※個人防護具（PPE）着脱方法は、「個人防護具（PPE）着脱マニュアル」参照

② 医療器材の消毒

寝台、ガントリの操作パネル、ストレッチャー、患者移乗用スライダー等、使用した 医療器材を清拭する

③ 個人防護具は MRI 検査室に入る前に着用する

④ 個人防護具の脱衣は検査室内で、N95 マスク以外を外す

⑤ 検査終了後は、手洗いまたはアルコール消毒を行う

⑥ 使用後のリネンは 90L の袋に入れて赤字で「MRI 室コロナ」と「日時」を記載する（24 時間以上経過後に処理）

⑦ 使用済みの個人防護具に関しては、感染性廃棄物段ボールに入れた後、封をして「MRI 室コロナ」と「日時」を記載する（24 時間以上経過後に処理）

⑧ 酸素・吸引等を行った場合、チューブ類はすべて破棄する